



深西だより

学校通信 第28号 令和5年7月21日(金) 発行

お振替 創りあげる人
お力も 豊か心も 強身体も

全員が力と心を合わせて 一致団結した学校祭



7月8～10日 『戮力協心 ～今しかできない青春を～』をテーマに、第74回学校祭が行われました。5月にコロナ感染症の扱いが2類から5類に変更となり、これまで本校生のみで行っていたアピールやステージ発表、縁日などを、本校生の家族の皆さんに観覧してもらうことができました。行灯行進のコースもコロナ禍前に近づく距離となり、多くの住民の方々に深西伝統の行灯を見てもらい、深西生のパワーを感じてもらうことができました。深西生がクラスの仲間と協力して創り上げたものを堂々と披露する姿、そして行事を通して一回り成長した姿を多くの保護者、地域の方々に応援してもらうことができました。本当にありがとうございました。

難しいけどカッコ良く、行灯らしいものを作りたくて龍を選びました。角や牙など光が届かない部分にも気を配り、口の開き具合などを工夫しました。作業は暑さと疲れで、みんなにストレスがたまっていたのですが、翌日にはまたみんながそろって作業に入り、目標を目指して1つになっていくのを感じました。優勝がわかった時には涙があふれました。本当に頑張ってきて良かったと思えました。みんなにありがとうございました。

<2-2：庄司安侑花・一已中出身>

縁日には「お団子」を販売しましたが、とても人気となり、提供が間に合わず、来てくれた皆さんにはご迷惑をおかけしてしまいました。その後も順調に販売が進み、無事完売することができました。完売の時の達成感はすごかったです。<3-1：光富愛理・一已中出身>



クラスメイトのそれぞれの個性をいかしつつ、楽しく面白い「クラス紹介」を作ろうと考えました。プラカードは行灯と関連させるために鯉を描き、水しぶきなど細かい部分や配色にも注意して作成しました。みんなが協力して作った作品が優勝できてとても嬉しかったです。

<2-1：高松はるか・幌加内中出身>

《写真部・高文連春季審査会》

入選 「光」 中村琴美

「雪と木の共演」 水野芽依

「雨の前触れ」 GHIMIRE ANJU

「何が見えるかな？」 齋藤ここ菜

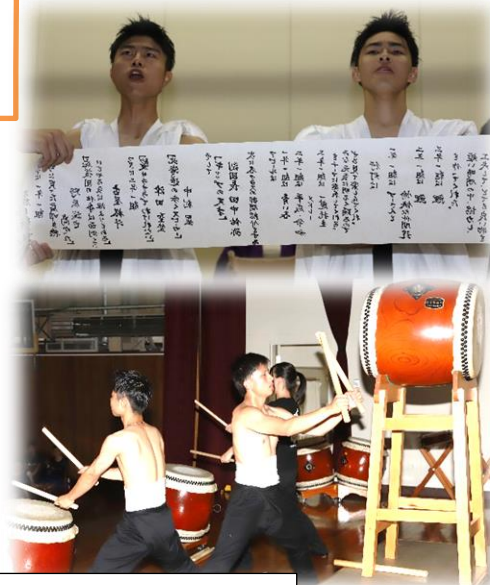
風景をうまく撮るために、妥協せずに自分が納得するまで何度も色々な角度を試して撮りまくりました。入選し、全道大会に行けることになり、本当に良かったです。

これからも様々な写真を撮り続けたいと思います。

<写真部：中村琴美・江部乙中出身>

振り付けを1から考え、音源も1から作りました。大変な作業だった上に、当初の練習には6人しか集まらず不安しかありませんでしたが、日を追う毎に練習にみんなが集まり、一生懸命に踊ってくれている姿に、感動し涙がでました。アピール優勝は、3-1 全員のおかげです。

<3-1：堂前音娃・北竜中出身>



高野連・高文連 大会結果報告

《野球部・夏の高校野球予選》

1回戦 対クラーク戦 0ー7

(7回コールド)

滝川工業との連合チームなので、週末しか合同で練習する機会がなかったのですが、チームとしてのまとまりや連携が良く、いいチームでした。単独で出場できない悔しさはありますが、多くのことも学びました。初戦のクラーク戦はコールド負けでしたが、点差以上に互角の戦いが出来て、悔いなく終わることが出来ました。誰一人欠けることなく3年間やり遂げることが出来て、本当に良かったです。

<野球部主将：吉田 颯・深川中出身>

8月の行事予定

9日(水) 全統共通テスト模試②

10日(木) 学校閉庁日

14日(月) 学校閉庁日(～15日)

17日(木) 学年集会 基礎力テスト

18日(金) 朝の挨拶運動(～22日) 小論文模試

19日(土) 全統記述模試② 看護模試③

22日(火) 体育祭 スクールカウンセラー訪問

24日(木) 体育祭予備日

25日(金) 安全点検

30日(水) 前期末考査(～9/1)

<発行者> 北海道深川西高等学校 担当：総務部

<電話> 0164-23-2263 <FAX> 0164-23-2264

<E-mail> hukagawanishi-z0@hokkaido-c.ed.jp

<ホームページQRコード>

